

2006年9月25日

IRCレーティング導入に関する基本方針

JSAF 外洋統括委員会 IRC 導入検討会議

IRCレーティング導入に関し、外洋統括委員会 IRC 導入検討会議における過去3回の協議および実務者勉強会の結果、当会議として以下の基本方針を決定いたしましたので、関係各位にご報告いたしますとともに、各位の積極的なご対応をお願いいたします。

1・管理運営

わが国におけるIRCの管理・運営はRORCとの契約に基づきJSAFがこれを担う。従って本レーティング取得に関してはJSAF登録艇もしくはJSAFが認めた艇を対象とする。同様に本レーティングを用いることができるレース（レガッタ）はJSAF加盟団体、傘下のフリートおよびJSAF特別加盟団体の主催もしくは共催によるものとする。

2・正式導入時期

正式導入は07年1月からとし、本年06年はトライアルイヤー（試行期）とする。

3・06年（トライアルイヤー）における扱い

・トライアル運営母体

トライアルイヤーにおけるレーティング取得およびレース運営母体はJSAF外洋加盟団体、外洋系特別加盟団体とし、本方針公示後、各団体よりトライアル運用の意思表示を求め、外洋統括委員会 IRC 導入検討会議にて調整ののち手続きが開始される。なお現時点で実質的な計測作業に入っている関西ヨットクラブ（特別加盟団体）、導入計画を示している外洋三浦（加盟団体）、および意思表示のある外洋東海（加盟団体）の3団体については先行して手続きを開始する。トライアルを希望しない団体の所属艇がレーティング入手、レースの参加を希望する場合は、実施団体に直接申告を行うことができる。実施団体は取得を希望する他団体所属艇を公平に扱わねばならない。その相談はIRC事務局開設委員会が行う。

・レーティング取得（費用と支払い）

トライアル実施団体は、計測・インプットシートの記入およびチェックまでを自己責任において行い、それにかかわる費用は自らが負担する。トライアルイヤーの間は計測にかかわる料金のうちRORC設定の申告手続き料金表に準じて作成されるJSAF版料金表以外はこれを定めず、各実施団体の任意の定めによって運用されるものとする。

申告料金は実施団体がインプットシートを JSAF・IRC 事務局に提出するに先立ち、当該金額を指定口座に振り込むものとする。但し本年度においてはその総数が 75 艇に至るまで JSAF への納付額を 1 艇あたり 8000 円と定める。総数 75 艇までの割り当て調整は IRC 導入会議に付託される。(ただしすでに計測を開始している関西ヨットクラブの納付金の金額は関西ヨットクラブの定めによる。)

申告艇数が 75 艇を越えた場合、76 艇目から適用される納付額は RORC 料金表に準じたものを適用する。

・ レーティング・カテゴリー (認定計測: Endorse か、自己申告: Standard か)

JSAF における IRC レーティングは Endorse (エンドース)、Standard (スタンダード) ともに適用・運用される。いずれの基準を採用しレガッタを開催するかは主催クラブの裁量に任せられレガッタの性格にあわせて判断される。しかしながら Endorse カテゴリーのレースを公示する場合は可能な限り早い段階で告知されるべきである。

・ レーティング事務局 (オフィス)

06 年度のレーティング事務局機能のうち、

1) ルールオーソリティー

ルールを含む IRC の総合的な管理は日本のルールオーソリティーとして鈴木(一行)林、吉田が協議の上 レーティングオーソリティーである RORC レーティングオフィスと連携を行う。(IRC ルール 5.1)

2) JSAF 本部事務局

会員からの問い合わせ・運用・費用の支払いに関する JSAF 本部側の窓口は JSAF 本部寺澤寿一事務局員が担当し鈴木一行が管理の責任をもつ。

3) IRC 事務局開設準備室

外洋加盟団体、特別加盟団体からの総合的な問い合わせおよびインプットシートの送り先、および計測実務・技術面との各種調整は IRC 事務局開設準備室の角委員が行いこの管理と JSAF 本部との連携責任は鈴木一行が行う。なおこの窓口設定は 06 年限りとし、07 年以降はトライアル状況を踏まえて独自の事務局を設定することを目標とする。一方、各トライアル実施団体は自ら推進体制を作り IRC に僭通した計測員または計測アドバイザーを専任することが求められる。

4) IRC ワーキンググループ

IRC の計測について問い合わせを含めた全体の統括は林計測委員長が行い 計測全般に関してチーフメジャーとして林委員長が行う。またセール計測に関しては長谷川委員、八木委員が窓口として行う。またハルおよび重量計測に関する担当はと吉田委員が行い普及のための障害を取り除き計測アドバイザーの構築を検討する。

5) 実務計測ワーキンググループ

各地区での IRC の計測のため計測委員・計測アドバイザーの任命を進めるため各外洋加盟団体および特別加盟団体よりの推薦を条件にメジャラーの公募を行う。各トライアル実施団体は自ら推進体制を作り IRC に僥通した計測員または計測アドバイザーを専任することが今後求められる。

6) IRC 総務、広報、ルールワーキンググループ

IRC の今後の展開に伴い事業の拡大を視野にいれ広報を含めた積極的な活動を吉田外洋統括副委員長に御願います。特に上の4グループに属さない活動をいろいろな経験者に参加いただき IRC を含めた今後の JSAF 会員が使いやすいレーティングを目標とする。

IRC 導入推進事務局体制 (06 年トライアルイヤーのみ適用)

			本部窓口機能		各団体
	機能	組織	責任者	窓口担当者	推進機能
	総合窓口	ル - ルオ - ソリティ	鈴木 林 吉田	_____	_____
	会員よりの問合せ・ 申し込み	JSAF 本部	鈴木	寺澤	_____
	インプットシ - ト 送り先 レ - ティング管理	IRC 事務局 開設準備室	鈴木	角	推進委員をアサイン
	計測	IRC ワ - キンググル - プ	林	林	計測員 計測アドバイザーを アサイン
	計測 セ - ル	計測 セ - ル計測	林	八木 長谷川	_____
	計測 支援	計測 支援 ハル 重量	林	吉田	_____
	各地区での 計測	計測 実務G	_____	_____	メジャラーの推薦・任命
	総務 広報	IRC 総務 広報 WG	吉田	募集	募集

・ その他

JSAF 外洋統括委員会はロードセル(重量計測器)の購入など計測に必要な機器の購入を行い、実施団体の求めに応じ予め定められた貸し出し条件(後日提示)でそれを提供する。

計測員、アドバイザーの報酬は07年以降標準料金表として提示する。トライアルイヤーの間は実施団体内、当事者間で協議の上定めるものとする。

その他、急ぎ決定を要する事項がある場合は導入検討会議議長が決定し、次回の会議でオーソライズするものとする。

また9月上旬に各外洋系加盟団体、各外洋系特別加盟団体への説明会を予定し理解を得る。以上の内容に関するの問い合わせは下記までお願いいたします。

JSAF 外洋統括委員会 IRC 導入検討会議

鈴木一行 まで御願いたします。

メール：suzuki@chienet.jp

携帯：090-7425-0125